

上中里支部



明けましておめでとうございます。上中里支部では毎月いろいろな集まり会や催し会を行っています。新年会では先生方からのお話し&ゲームをし、4月には健康のため飛鳥山までお花見に行き、皆の頬も桜色に染まります。3月、6月、9月、12月は「コスモス会」というお誕生日会を開き、お茶菓子と花束でお祝いするとともに各種健康チェックを行います。又、毎月鹿山理事宅に集まりおいしい料理を食べながら診療所の伝達事項を伝えたり、近隣の方々のお話を聞いたりして意見交換をしておりますが、上中里支部も年々高齢者の方が多くなっており、今年もよろしくお願ひいたします。

小台宮城支部

あけましておめでとうございます。2019年は所長交代という事もあり、地域の皆様には大変ご心配・ご迷惑をおかけした一年となりましたが、新たに渡辺所長をお迎えすることが出来ました。心機一転、令和という新しい年号と共に支部一丸となって、東京ふれあい医療生協があつてよかったと思われるように努力していききたいと思います。



飛鳥山支部

初春のお喜びを申し上げます。今年支部を結成して5年目を迎えることが出来ました。この支部の新規組合員の増加・出資金の増資を重点に行動し、新年会や暑気払い等を通じて交流を図ってきました。4月の総会に向けて、新年会・学習会等で支部組合員の親睦を更に図って、1年間支部行動を進めていきたいと思いますので、支部組合員の皆様に於かれましては今年もよろしくお願ひ致します。



西尾久7・8丁目支部

2006年に支部結成して13年経過し、竹内支部長にバトンタッチされ新たな活動の機会が展開されています。強化月間の「地域拡大訪問」では、新規加入者を増やそうと訪問対象者を広げた地域を運営委員と職員で限らず訪問しました。「名義変更の手続き」「出資金の明細」が判らない、「役員に加入を以前勧められていた」などの事例を丁寧に対処し、訪問の大切さを実感しました。結果、新規加入者が11名の成果となりこれからの支部活動の励みとなりました。また4つの「班」の定例開催が定着し、小人数でみんなが発言出来る良さがお互いの信頼と心許せる仲間になれる「班活動」「班づくり」を増やしていけたらと思います。



栄町支部

栄町支部を結成して7年目を迎えます。毎年、地域の行事には参加させていただき、健康チェックを行ってきました。本年も地域や他支部との交流に1人でも多くの組合員さんに参加していただけるように、声のかけ合いをしていきたいと思います。又、おしゃべり会や食事会・学習会を取り入れ、楽しい活動が出来るように工夫していきたいと思います。今年の新春の集いはブロックごとに行うため、他支部の組合員さんとの交流が出来ます。皆様のご協力、宜しくお願い致します。



西尾久1・2・3丁目支部



明けましておめでとうございます。早いもので令和になって一年が過ぎ、西尾久1・2・3丁目支部も支部分割より8年目を迎えます。ひとえに地域組合員さん、職員組合員さん、役員のみなさまのご協力ののおかげと感謝しております。支部活動では、機関紙配布者懇談会、お誕生日訪問、健康まつり出店、外来拡大、訪問拡大、新春の集い、レクレーションなどを行い、今年からはフラワーアレンジメントの班会をつくり、楽しく活動しています。今年目標は、前年度から組合員さん宅を訪問していますので引き続き、地域増資訪問を実施していきますので、訪問した折にはよろしくお願ひいたします。

西尾久4・5・6丁目支部



あけましておめでとうございます。昨年1年間、支部活動に御協力をいただいた方々にお礼申し上げます。今年も変わらずよろしくお願ひいたします。2020年はオリンピックの年ですが、東京ふれあい医療生協の50周年の年でもあります。西尾久4・5・6丁目支部としては、多世代が交流できる場所づくりとして西尾久5丁目（スーパーバリエーの裏手）のグループリビング“緑”にて、毎月第2、第4土曜日のお昼にカレーを提供する「みんなの子ども食堂・緑」（仮称）を始めました。子どもから高齢の方までどなたでも楽しい時間が共有できれば良いなと思っています。カレーを食べに来てくれる方、手伝ってくれる方も含め、多くの皆様のご参加をお待ちしています。

東尾久支部



令和新年おめでとうございます。支部組合員の皆様、支部運営委員、配布者の方々、参加ご協力ありがとうございます。東尾久支部では、「自分の死を考える会」、地域盆踊り大会、うどん作り、施設めぐり、訪問拡大、いきいきサロン等々の活動を継続しています。これらの活動は機関紙に折り込むチラシや声掛けにてお知らせをしています。参加をお待ちしています。また支部では高齢化による体調不良などの理由で担い手が欠員しています。ご協力をお願い致します。今年も顔と顔がつつながり、困ったときに支え合えるまちづくりをしていきます。



（医師・渡辺章記）

みなさんは「三方よし」という言葉を聞いたことがありますか？「三方よし」は現在の滋賀県にあたる近江国の商人の言葉で、三方とは売り手・買い手・世間のことで、売り手と買い手がともに満足しさらに社会貢献もできるのが良い商売だという考え方です。近江商人は自分たちの利益ばかりを考えるのではなく、人のためになることを行って信頼を蓄積し、得た利益を学校の建設や橋の建設といった社会貢献につぎつけていきました。この「三方よし」は多くの経営者の指針となっています。医療生協にとっての三方を考えてみると、組合員さん、職員、地域（まち）、の3つになるでしょうか。近江商人とは違い、組合員さんが売り手にも買い手にもなるのが医療生協の特徴です。当生協のふれあいクレドを見てみると、「人と人とのわを大切にし、共に助け合い、支え合って、地域の課題に立ち向かいます」との文言があります。地域の課題とはいろいろなとらえ方ができます。地域で活動する組合員が減ってきたり、地域の人口が少なくなったり、診療所を利用する患者さんが減ってきたり、さまざまなことが地域の課題ととらえられるでしょう。問題をどうやって解決するか悩んだときこそ、ふれあいクレドを見直して利用してみよう（ふれあいクレドカードを携帯していますか？）。医療生協にとっての三方である、組合員さん、職員、地域（まち）の3つそれぞれのためになっているかどうか、を考えていることが、医療生協らしい活動につながると思います。



本年もよろしくお願ひいたします。

堀船4丁目支部

前理事さんから「支部長をお願いします。」と依頼され、突然のことでしたので困惑しながらも代行のつもりで支部長という大役を受け継ぎ、六年が過ぎました。この六年の間にはいろいろなことがあり戸惑いを感じる日々でしたが、支部の皆様を支えられたおかげで今日に至っております。堀船4丁目支部で四カ月に一回開催している「ひまわりの集い」というお誕生日会も存続しています。この「ひまわりの集い」は組合員さんがとても楽しみにしていますので、何とか継続していきたいと努力しています。今後の活動に関しては、高齢化に伴い参加者の減少が厳しい状況なので、生協の活動には出来る範囲で参加し交流を深めていきたいと思います。令和二年を迎え気持ちを新たに、体調に気を付けて頑張っていきたいと思っておりますので今後ともよろしくお願ひ致します。



堀船集合住宅支部

あけましておめでとうございます。支部結成から今年で3年目を迎えます。結成してから増資拡大訪問を全くしていない地域があるため、今年はそこに重点を置き、全力を挙げて頑張りたいと考えています。健康まつりでは、一昨年、昨年と続けてフリーマーケットに出店しましたが、2回とも楽しくて、老いを忘れてしまいました。今年も楽しみにしながら、今から計画を立てているところです。組合員の皆様も是非ご参加下さい。お待ちしております。本年もよろしくお願ひ致します。



梶原診療所利用委員会

梶原診療所利用委員会では、地域組合員・職員組合員の参加と協同を大切にかかりやすい診療所づくりを目指して活動しています。昨年度からは、「院内ウォッチンググループ」「外来ボランティアグループ」「上手な診療所のかかり方グループ」の3つのグループに分かれ、それぞれの課題を話し合っています。診療所にある虹の声ボックスに投稿された虹の声や、地域の声は、診療所運営に活用します。外来ボランティアの活動は、各支部・委員会より参加して頂き、外来に見える得患者さんを支える、診療所にとって大変頼りになる存在として定着しています。「あなたの声が改善に！」今後も是非、診療所に関するご意見をお聞かせ下さい。



社保・平和部会

昨年は、11月11日健康まつりでミニバザー、物品販売に取り組みました。今後も暮らしに必要なテーマでの学習会などの活動を進めたいと思いますので、ご参加くださるようお願いします。



健康づくり委員会



令和時代ははじまり、健康づくり委員会の組織を変え活動が始まりました。今までの梶原健康づくり委員会・宮の前健康づくり委員会を一本化し健康づくり委員会としました。委員会は毎月第4木曜日・2時から・ふれあいセンターにて開催されています。委員さん一同の顔が見え、それぞれの地域活動も分かる委員会となりました。昨年6月から始められている歌声喫茶「ふれあい」も毎回60～70人前後が参加して「歌うことは、健康にも、気持ちや心理的な面からもとても良い。そしてなにより、みんなで歌う事がとても楽しい」との声も出ています。皆さんからの参加お待ちしております。ふれあい健康チャレンジでは「若返れ！血管年齢 ウォーキングチャレンジ」を行いました。今年も健康チェックを基本に新しいタイプの活動にも参加していきたいものです。

堀船1丁目支部

明けましておめでとうございます。日頃より支部活動にご理解・ご協力を頂き、支部役員を代表して組合員の皆様にお礼申し上げます。昨年の支部活動では、組合員の方々の声を聴く機会でもある、月一回、二十件ほどのベースで行う増資訪問活動を計画してきましたが、充分に行うことができませんでした。残りの期間で訪問件数を増やす努力をして参ります。訪問の際は是非ご協力をお願いします。また、恒例になりました、新春の集い、学習会、毎月の支部運営委員会につきましては、計画通り開催しています。皆様の参加をお待ちしています。現在、支部の第一の課題は「生命の炎」の配布担当者不足です。月一回の活動となりますが、「私やります」と、手を挙げて頂くに助かります。



堀船2丁目支部

新年あけましておめでとうございます。新しい令和2年、どんな一年になるか、気持ちも変わります。●活動紹介 支部としては一通りの活動をして、今年は町会の仲和会（老人会）と一緒にカラオケをいたします。2時間声を出すとすっきりして、食事や飲み物の飲み込みが良くなり、気持ちも軽くなります。



歌声喫茶にも毎回楽しみに参加していますので、支部の皆さんはどうやら歌が好きようです。

宮の前診療所利用委員会

宮の前診療所利用委員会です。毎月1回、委員長含む5名のメンバーと職員1名で利用委員会の会議を開催しています。虹の箱、虹の声に対する協議、院内ボランティア活動の日程調整、院内ボランティア意見交換会、学習会などの企画の立案、実施、医療福祉生協連合会の患者満足度アンケートなどの活動を行っています。院内ボランティアに登録して



いただいている方は現在約20名。昨年は診療所の外壁清掃や玄関前の掲示板の新設にご協力いただき院外の美化活動に積極的に取り組みました。今年度は利用委員会のメンバーの増員を行い、より診療所が活性化できるよう取り組んでいきたいです。

機関紙編集委員会

機関紙編集委員会は、理事会広報委員会の専門チームとして、機関紙の編集・発行を任務として活動しています。組合員の皆様に、医療生協の活動を知っていただくため、紙面構成やテーマを考えています。3月末で永年編集に関わっていた職員が退職します。新年度は、以前よりも増して、読みやすい紙面づくりを行いたいと思います。



子育て教室



これまで地域の子育てをする保護者の方の支えとなってきた子育て教室は、今年度で第43期を迎えました。毎回好評な倉

信先生講師の講義「頭の良い子に育てるために」や渡邊先生講師の講義「子どものケガ」を終え、今年度は初めて梶原診療所栄養士の高橋知子さんに講師をお願いし、離乳食の講義を開催することができました。他にも外部講師を迎え、食物アレルギーや歯の健康に関する講義など充実した内容を提供しています。講義中は小さいお子様を地域ボランティアの方々がお預かりし安心して講義を聞いていただいています。これから子育て教室は保護者の方の子育ての不安に寄り添い、手助けができるパートナーになれるよう活動を続けていきます。